USB CD-RW ドライブ

CDRW-J2410U2

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... **⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。**

次の動作マーク .... **次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。**

文中の用語表記

- **文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。**
- **CD-ROM、音楽CD、CD-RW／CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。**
- **本書では、Microsoft社Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。**
- **本書にはCD-RWに関しての用語集が記載されています。意味が分からない用語があったときは、本書の付録「用語集」【P28】を参考にしてください。**

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⃠ 分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：● プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

⚠ 注意

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ
  →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  →故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。
  汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。
  両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。
CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

本製品へのアクセス中は、本製品からUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。

データが消失、破損する恐れがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに

本製品の特長や、メディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● CD-R/RW メディアに書き込み可能
本製品は、CD-RW メディアと CD-R メディアにデータを書き込めます。 転送速度は次のとおりです。

- CD-RW 書き込み時
  最大 1500KB/sec（最大 10 倍速）（*1、*2）
- CD-R 書き込み時
  最大 3600KB/sec（最大 24 倍速）（*1）

*1 お使いのパソコンの USB の転送速度に依存します。
*2 CD-RW メディアに 4 倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed 対応の CD-RW メディアが必要です。

●USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度:480Mbps理論値）で本製品を使用するには、弊社製USB2.0インターフェースIFC-USB2P(またはUSB2.0 に対応したパソコン本体)が必要です。

● バッファアンダーランエラー （書き込みエラー）防止機能を搭載
CD-R/RW メディアへの書き込み中に他のアプリケーションで作業をしても、バッファアンダーランエラーが発生しません。【P8「バッファアンダーランエラー防止機能とは?」】

● USBコネクタ（シリーズA）に接続可能
パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）に接続できます。

● MP3 データファイルから、音楽 CD （CD-DA）を作成できます。

● CD のバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、本製品 1 台だけでも可能な方法（ハードディスクに CD のイメージを作成する方法）があります。

次のページへ続く

● 多彩なフォーマット形式をサポート

次の CD のフォーマット形式をサポートしています。 ○：サポートする －：サポートしない

CDのフォーマット形式	読み出し	書き込み		
		WinCDR (WindowsMe/98SE/98/2000)	PacketMan (WindowsMe/98SE/98)	MacCDR (Macintosh)
CD-DA（音楽CD）	○	○	－	○
CD TEXT（*1）	○	○	－	○
CD-ROM（Mode1）	○	○	－	○
パケットライト	○	－	○	－
CD-ROM XA	○	○	－	○
Photo CD	○(*2)	○(*3)	－	○(*3)
Video CD	○(*2)	○(*4)	－	○(*4)
CD Extra	○(*5)	○	－	○
Mixed Mode CD	○(*5)	○	－	○
HFS	○(*6)	－	－	○
ハイブリッド(*7)	○	－	－	○

*1 パソコンで再生する場合は、再生ソフトウェアが CD TEXT に対応している必要があります。（本製品付属の WinCDR の CD プレーヤーは、 CD TEXT に対応しています。）
オーディオ機器で再生する場合は、 オーディオ機器が CD TEXT に対応している必要があります。

*2 読み出しには、 再生ソフトウェアが別途必要です。

*3 JPG ファイルなどの画像データは、 Photo CD 形式ファイルへは変換できません。

4 Video CD 形式ファイルへの変換には Video CD の規格に準拠したファイル形式 （.MPG など） でキャプチャしたデータが必要です。 キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

*5 Macintosh では対応していません。

*6 Mac OS 用のフォーマット形式です。 Macintosh で読み出すことができます。

*7 ISO9660 と HFS の混在フォーマットです。

バッファアンダーランエラー防止機能とは？

従来の CD-R/RW ドライブでは、CD-R/RW メディアへの書き込み中に他のアプリケーションを起動したりすると、CD-R/RW ドライブのバッファ（*）が瞬間的に空になってしまい、 書き込みが中断されてしまう「バッファアンダーランエラー」 と呼ばれる現象が発生していました。

*パソコンから送られてくるデータを一時的に保管しておく装置

この現象を防ぐために開発されたのが、「バッファアンダーランエラー防止機能」 です。 この技術を簡単に説明すると、 次のようになります。

① CD-R/RW ドライブ内のバッファに貯められているデータの量を監視する
② データが無くなりそうになったら、 いったん CD-R/RW メディアへの書き込みを止める
③ 書き込みを中断した場所を記憶する
④ バッファにデータが溜まったら、 ③で記憶した位置から書き込みを再開する
＊書き込みを一時中断した時間分だけ書き込み時間が長くなります。

これにより、 データが途切れてしまっても、 続きのデータを継ぎ目なく書き込めるのです。

⚠注意 バッファアンダーランエラー防止機能は、次の状況では働きません。
- 停電や電源切断
- パソコンやソフトウェアの故障／異常
- 本製品に衝撃を与えた場合や、CD-R/RW メディアの異常
- 記録する元データやドライブ（CD-ROM ドライブなど）の異常

必要なパソコン環境

● DOS/V機、PC98-NXシリーズ
- CPU Pentium166MHz以上
  (Pentium II 233MHz以上推奨)
- メモリ ... WindowsMe/98SE/98：64MB以上
  Windows2000：96MB以上
- OS WindowsMe/98SE/98/2000
- ハードディスク空き容量
  WinCDRのインストール用に約10MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50～800MB（*1）

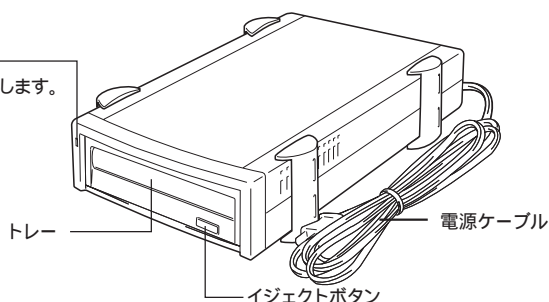
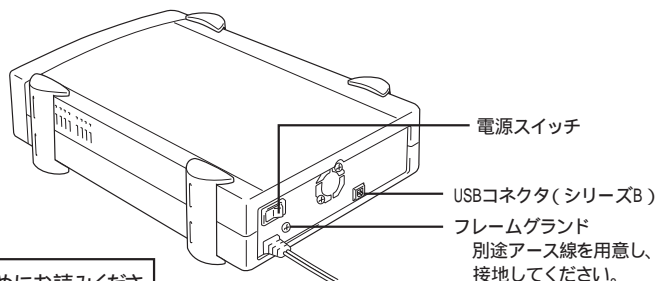
*1 書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

● PowerMacintosh G3、PowerMac G4、PowerMac G4 Cube、iMac、iMac DV、iBook、PowerBook G3
- アプリケーションRAM ... 16MB
- メモリ 32MB以上
  （64MB以上推奨）
- OS .... Mac OS8.6～9.1
- ハードディスク空き容量
  MacCDRのインストール用に約5MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50～800MB（*2）

*2 書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

各部の名称

⚠注意 製品の形状はイラスト異なることがあります。

●前面

●背面

付属品の確認は別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

メモ 本製品は縦置きに設置することもできます。詳しくは別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

2 セットアップ

本製品をパソコンに取り付ける手順や本製品の使いかたについて説明しています。

セットアップ手順

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

＜Windows搭載パソコン＞

メモ 別紙「はじめにお読みください」を必ず参照してください。

1. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する
2. 周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにする
3. 付属の「CDRW-U2シリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットする(*)
4. 「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する
5. ・「WinCDR」をインストールする
   ・「PacketMan」をインストールする
   ・WinCDRまたはPacketManを起動する
   【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」参照】
   【別冊「PacketManクイックスタートガイド」参照】

＜Macintosh＞

1. 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続する
2. 周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにする
3. 「MacCDR」と記載された付属のCDで「MacCDR」→「USBドライバ」の順にインストールする【「MacCDRクイックスタートガイド」参照】
4. 本製品にUSBケーブルを接続する【P14】
5. パソコンにUSBケーブルを接続する【P14】
6. MacCDRを起動する【「MacCDRクイックスタートガイド」参照】

⚠注意 MacintoshでMacCDR以外のライティングソフトウェアをインストールしている方へ

MacCDRをインストールする前に、ライティングソフトウェアのCD-ROM用ドライバを必ず無効にしてください。有効のままMacCDRをインストールすると、ドライバが競合し、正常にパソコンが再起動しないことがあります。ドライバの有効／無効は、[アップルメニュー]－[コントロールパネル]－[機能拡張マネージャ]で設定できます。

取り付けの前に

注意事項

- パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

- パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）にバックアップしてください。

- 本製品はパソコンのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にＵＳＢコネクタが装備されていないDOS/V機を使用している場合は、弊社製USBボードを使用してください。

- 1台のパソコンに、USB接続のCD・DVDドライブ（本製品を含む）を2台以上接続して使用することはできません。

- 本製品は、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

- Macintoshに本製品を接続する場合は、事前に「MacCDR」と記載された付属のCDで「MacCDR」→「USBドライバ」の順にインストールしておいてください。
  インストールしないと、本製品にCDをセットしてもマウントされません。

- パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

- 本製品で書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。
  書き込み中にUSBケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

- パソコンおよび本製品は精密機器です。本書巻頭「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「使用時の注意」【P15】を必ず参照してください。

- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

- 本製品を使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。
  - パソコン本体のマニュアル
  - 本製品および付属品

- USBハブを使用する場合は、の弊社製UHB-S7/S4をお使いください。

- Mac OS8.6を搭載したPower Macintosh G3をお使いの方へ
  本製品をUSBハブに接続した場合、OSの起動/再起動時に本製品が認識されないことがあります。そのようなときは、パソコンのUSBコネクタに本製品を接続してください。

NEC PC98-NXシリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後はアドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

CyberTrio-NXは、パソコンを使う人ごとにWindowsの動作範囲やアクセスできるフォルダを限定します。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従って作業します。別紙「はじめにお読みください」を参照してセットアップしてください。

メモ 本製品のドライバがインストールされると、[デバイス マネージャ]（※1）に次のデバイスが追加されます。

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsMe	CD-ROM	ユニットドライブ名
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス（※2）
	記憶装置	USB CD-ROM
Windows98SE/98	CD-ROM	ユニットドライブ名
	ハード ディスク コントローラ	USB2-IDE Mass Strage Controller
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	MELCO USB2-IDE Bridge Adapter
Windows2000	DVD/CD-ROMドライブ	ユニットドライブ名
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス

※1 [デバイス マネージャ]は次の方法で表示できます。
WindowsMe/98SE/98: [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ(R)]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック
Windows2000: [マイ コンピュータ]アイコンを右クリック→[管理(G)]→[デバイス マネージャ]をクリック

※2 緑色の丸に白字で「?」と表示されます。これは、Windoes付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのまま使用してください。

Macintoshでのセットアップ手順

本製品を接続します。

⚠注意　本製品を接続する前に、必ずMacCDRと記載された付属のCDで「MacCDR」→「USBドライバ」の順にインストールしておいてください。インストールしないと、本製品にセットしたCDがマウントされません。

1　付属のUSBケーブルを本製品のUSBコネクタ(シリーズB)に接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA
（パソコン側に接続）

シリーズB
（本製品に接続）

2　本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。

3　パソコンの電源スイッチをONにします。

4　パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。

USBコネクタ
（シリーズA）

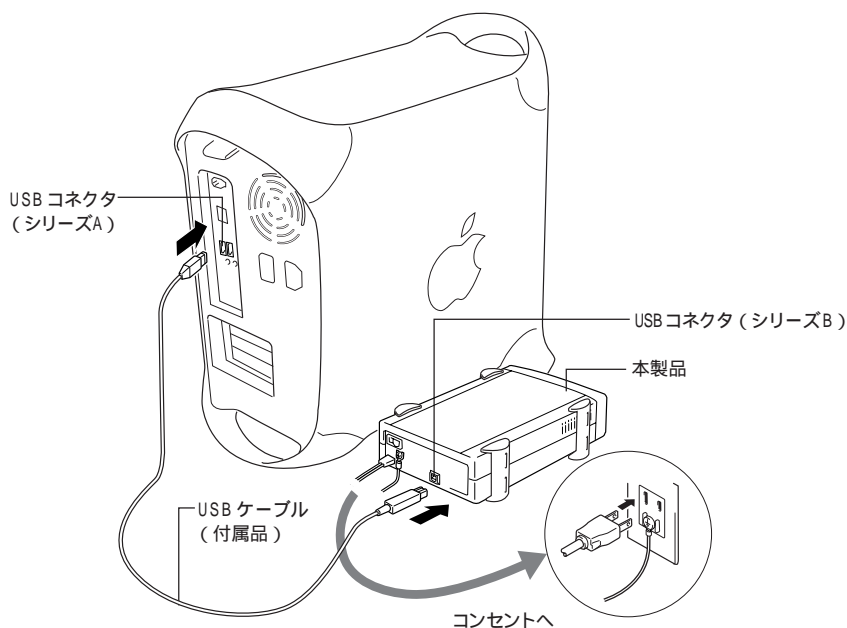
USBコネクタ（シリーズB）

本製品

USBケーブル
（付属品）

コンセントへ

以上で本製品の接続は完了です。

3 取り扱いかた

本製品の基本的な操作方法を説明します。

使用時の注意

- ＵＳＢ用ケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。
- メディアへの書き込み中やCDの再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。
- 本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。
- 本製品はホットプラグに対応しています。本製品やパソコンの電源スイッチがＯＮの時でもP16「本製品の取り外しかた」の手順でUSBケーブルを抜き差しできます。

  ⚠注意 **本製品へのアクセス中は、絶対にＵＳＢケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。**
- 本製品の上に物を置かないでください。

メディアの取り扱いに関する注意

メディアは繊細です。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。
- メディアに傷を付けないでください。

CDのセット／取り出し

- CDをセットする

  イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDをセットします。
- CDを取り出す

  Windows搭載パソコンの場合は、イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
  トレーを軽く押してトレーを戻します。
  Macintoshの場合は、デスクトップに表示されているCDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。トレーが出てきたらCDを取り出し、トレーを軽く押してトレーを戻します。
  ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

⚠注意 **本製品へのアクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。CDや本製品が破損するおそれがあります。**

メモ
- WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある［イジェクト］アイコンをクリックしてください。
- PacketManをインストールした環境で、パケットライト方式で書き込まれたメディアを本製品にセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面の［マイコンピュータ］内にあるCD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、メニューから［取り出し］を選択してください。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチがＯＮの状態でも、次の手順で本製品を取り外すことができます。

⚠注意 本製品へのアクセス中は、本製品を取り外さないでください。

メモ パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

WindowsMe

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB CD-ROM - ドライブ(X:)の停止] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

3

[OK] ボタンをクリックします。

4 本製品を取り外します。

Windows98SE/98

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

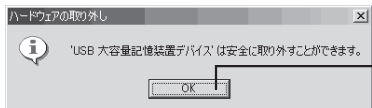
2

[USB2-IDE Mass Strage Controllerの取り外し] をクリックします。

3

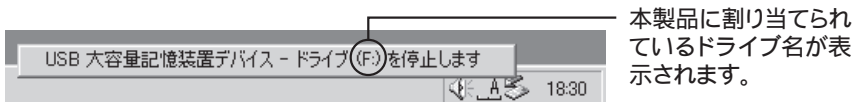
[OK] ボタンをクリックします。

4 本製品を取り外します。

Windows2000

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

3

4 本製品を取り外します。

Macintosh

Macintoshの場合は、取り外しの際に特別な操作は必要ありません。

⚠注意
- MacCDRが起動しているときは、絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。USBケーブルを取り外す前に、必ずMacCDRを終了させてください。
- CDがマウントされているときは、CDのアイコンをゴミ箱へドラッグ&ドロップし、CDがアンマウントされたのを確認してからUSBケーブルを取り外してください。

4 書き込みと読み出し

CD-R/RW メディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込み

メディアにデータを書き込むときは、本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」、「PacketMan」、「MacCDR」のいずれかを使用します。
ライティングソフトウェアのインストール方法は、クイックスタートガイドを参照してください。
詳しい使いかたは、WinCDRユーザーガイド(*)、またはMacCDRユーザーガイド(*)を参照してください。

* 印刷物ではなくオンラインマニュアル(PDFファイル)として提供されています。WinCDRユーザーガイドは、WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。MacCDRユーザーガイドは、MacCDRのCD-ROMに収録されています。

⚠注意
- 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- WinCDR、PacketMan、MacCDRで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

WinCDR、PacketMan、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」または「MacCDRクイックスタートガイド」の1ページ参照】
本製品の操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

ライティングソフトウェアの特徴

● WinCDR

音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。
- Windows用のライティングソフトウェアです。対応OSはWindowsMe/98SE/98/2000です。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。
  ※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
  ※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

⚠注意 本製品の仕様により、WinCDRの設定ダイアログボックス(*)で[ｺﾋﾟｰ許可]を選択できません。

* [ｺﾋﾟｰ許可]が含まれるダイアログボックスは、WinCDRのメイン画面で次のメニューを選択すると表示されます。
- [設定]－[CDの設定]
- [設定]－[ﾄﾗｯｸ設定]

次のページへ続く

● PacketMan

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- Windows 用のライティングソフトウェアです。 対応 OS は WindowsMe/98SE/98 です。
- 小さなパケット単位で書き込むので、 バッファアンダーランが発生しません。
- 小さなファイルを記録する場合も、 ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、 ファイルを削除できます。

※ CD-RW メディアを使用している場合は、 削除によって空き容量が増えますが、 CD-R メディアの場合は増えません （削除情報が書き込まれます）。

⚠注意 100MB を超える大容量のファイルを書き込むときは WinCDR を使用してください。

● MacCDR

- Mac OS 用のライティングソフトウェアです。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、 プレス用のマスター CD が作成できます。
- CD のバックアップが可能です。
- HFS （Apple 専用ファイルシステム） と Hybrid （ISO9660 と HFS フォーマットの混在フォーマット） での書き込みが可能です。

※ Hybrid 形式で作成した CD は、 Macintosh と Windows の両方で読み出せます。

⚠注意 Macintosh のスリープ機能は必ず無効にしておいてください。 有効になっていると、 書き込みに失敗することがあります。

● ライティングソフトウェアの比較

○ ： 対応　－ ： 非対応

	WinCDR (WindowsMe/98SE/98/2000)	PacketMan (WindowsMe/98SE/98)	MacCDR (Macintosh)
ISO9660（CD-ROMの標準ファイルフォーマット）	○	－	○
CD-DA（音楽CDフォーマット）	○	－	○
Mixed Mode CD （CD-DAとデータの混在フォーマット）	○	－	○
CD-ROM XA （ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット）	○	－	○
フォトCD（フォトCDイメージファイルのコピー）	○	－	○
CD-ROM　Mode1	○	－	○
CD Extra	○	－	○
マルチセッションサポート（追記記録方式）	○	－	○
パケットライト（追記記録方式）	－	○	－
ディスクアットワンス	○	－	○
トラックアットワンス（追記記録方式）	○	－	○
セッションアットワンス	○	－	○
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	－	○
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	－	○
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	－	○
ロングファイル名サポート	○	○	○
Joliet（DOS名と64文字までのファイル名）	○	－	－
ISO9660レベル1標準（8.3）	○	－	○
HFS（Apple専用ファイルシステム）	－	－	○
Hybrid（ISO9660＋HFS）	－	－	○

書き込み方式

本製品付属のライティングソフトウェアは、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア	
ディスクアットワンス	WinCDR	MacCDR
トラックアットワンス	WinCDR	MacCDR
セッションアットワンス	WinCDR	MacCDR
パケットライト	PacketMan	

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。【P18「ライティングソフトウェアの特徴」】

● ディスクアットワンス方式
本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・リードインからリードアウトまでを１回で書き込む。
・１枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して１回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ　書き込み時に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。

●トラックアットワンス方式
本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意
・2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。
・1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、WinCDRやMacCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。

メモ　書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● セッションアットワンス方式
本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ　音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。

● パケットライト方式
本製品付属のライティングソフトウェア「PacketMan」は、この書き込み方式に対応しています。
・パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
・パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくはカタログを参照してください。

- CD-RWメディア .... RICOH、三菱化学、TDK、日立マクセル
- CD-RWメディア(High Speed対応) .... RICOH、三菱化学
- CD-Rメディア .... 太陽誘電、RICOH、三井化学、FUJIFILM、SONY、イメーション、TDK、三菱化学、日立マクセル

⚠注意 上記以外のメディアでの最大速度の書き込み動作は保証できません。 書き込みができないときは、書き込み速度を下げてください。

制限事項

＜CD-RWについて＞

● CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。

CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。
CD-RW対応の弊社製ドライブ（2001年8月現在）は次のとおりです。

CRWU2、CRWU、CRWiU、CRWiF、CRWSU、CRWS、CRWI、CDRW、CDRシリーズ

DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAMT5.2G、RAM5.2G/A

DVD-ROM16FB、ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB

CDS-S40、S35SL、S24SL、S24

CDI-48FB、40FB、32FB、24FB

CDN-D24VA、D24EX、D12EX

※ 使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

● CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。 書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

● WinCDRで書き込んだデータを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。 セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

● CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをする場合は、High Speedに対応したCD-RWメディアを使用してください。 High Speedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

※ このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

4

書き込みと読み出し

読み出し

本製品は、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。

- 音楽CD（CD-DA）
- CD-ROM（Mode1）
- CD-ROM XA Mode2（Form1、Form2）
- Photo CD（*3）
- CD TEXT（*1）
- CD Extra（*2）
- Mixed Mode CD（*2）
- Video CD（*3）

*1　再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。

*2　Macintoshでは対応していません。

*3　読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

⚠注意

- PacketManで書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにもPacketManのドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、WinCDRのCD-ROMに収録されているPacketManリーダーをインストールしてください。PacketManリーダーをインストールするには、WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら［PacketMan Reader］をクリックします。
- CDの再生方法についてはお使いの再生ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- 再生ソフトウェアによっては、本製品のドライブ名が内蔵のCD・DVDドライブよりも前に割り当てられていると再生できないことがあります。そのようなときはデバイスマネージャからドライブのプロパティを開き、ドライブ名を変更してください。

（例）○：Eドライブ(内蔵CD・DVDドライブ)/Fドライブ(本製品)

　　　×：Eドライブ(本製品)/Fドライブ(内蔵CD・DVDドライブ)

パソコン本体のスピーカやパソコンに接続したスピーカで音楽を聞くには

Windows Media Player 7（*）など、デジタル再生に対応したプレーヤーを使用すれば、パソコン本体のスピーカやパソコンに接続したスピーカで音楽を聞くことができます。

* Microsoft社のソフトウェアです。WindowsMeには標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

Windows Media Playerで再生するには、次のようにデジタル再生の設定を行ってください。

① Windows Media Player 7を起動します。

② メニューから［ツール(T)］－［オプション(O)］を選択します。

③ ［CDオーディオ］タブをクリックします。

④ ［再生の設定］項目中の［デジタル再生(K)］のチェックボックスをクリックし、チェックマーク(✓)を付けます。

⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

※ Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。

※ パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、本製品にヘッドホンを接続して聴くか、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

⚠注意 デジタル再生中は、一般的に読み出しドライブに接続したヘッドホンでは音楽を聴けません。ヘッドホンで聴くときは、プレーヤーのヘルプを参照してデジタル再生を無効にしてください。

5 付録

困ったときは

本製品を使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

一般的なトラブル

本製品が認識されない

原因	対処方法
本製品が正しく接続されていない	USBケーブル、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・Windows搭載パソコン ...【別紙「はじめにお読みください」】 ・Macintosh ....【P14】
ドライバが正しくインストールされていない	Windows: 別紙「はじめにお読みください」を参照して簡単セットアップを実行してください。 Macintosh: 別冊「MacCDRクイックスタートガイド」を参照して再度ドライバをインストールしてください

パソコンが起動しない

原因	対処方法
パソコンの環境が壊れた	パソコンに付属の起動ディスクとCD-ROMを使用して、OSを再セットアップしてください。WinCDRの「NORTON Ghost」機能であらかじめバックアップCDを作成しておけば、被害を最小限にできます(OS再セットアップ時にはパソコン標準のCD-ROMドライブなどを使用してください)。

PacketManをインストールしたら内蔵CD-ROMドライブが使えなくなった

次のパソコンでは、PacketManのドライバが競合し、内蔵CD-ROMドライブが使用できないことがあります。

・ パソコンを起動しなくてもCD-ROMドライブでCDの再生などができる機種

この場合、内蔵CD-ROMドライブとPacketManを同時に使うことはできません。内蔵CD-ROMドライブを使うときは、タスクバーのPacketManのアイコンを右クリックし、[PacketManを無効にする]を選択してください。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア(※)上で、本製品を使用できないことがあります。その場合はパソコンに標準搭載されているドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ(プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります)にご確認ください。

本製品でOSを再セットアップできない

本製品は、OSの再セットアップには使用できません。再セットアップを行うときは、パソコン標準のCD-ROMドライブなどを使用してください。

UHB-S4（弊社製USBハブ）を使用すると本製品が認識できない

USBコントローラに「Intel 82801BA/BAM USB Universal Host Controller または Intel 82801BA/BAM UHCI」を使用しているパソコン（※）では、本製品をUHB-S4に接続しないでください。本製品が認識されない、または正常に動作しないことがあります。このようなときは、本製品をパソコン本体のUSBコネクタに直接取り付けてください。

※USBコントローラの確認方法

WindowsMe/98SE/98	[マイコンピュータ]アイコンを右クリック→[プロパティ(R)]をクリック →[デバイス マネージャ]タブをクリック →[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]をダブルクリック →表示された文字列がUSBコントローラです。
Windows2000	[マイコンピュータ]アイコンを右クリック→[管理(G)]をクリック →[デバイス マネージャ]をクリック →[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリック →表示された文字列がUSBコントローラです。

読み出し時のトラブル

2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している	ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。
CDが汚れている、または破損している	CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。
CDが裏返しになっている	CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応していない	CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWメディアに対応したドライブで読み出してください。【P21「制限事項」】

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ	WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名（8＋3形式）で書き込んでください。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した	弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランエラーが発生する）

バッファアンダーランエラー防止機能が無効になっている

- WinCDRの［設定］メニューで［書き込み設定］を選択します。この画面で［転送エラー防止機能を使用］チェックボックスをチェックしてください。【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】

  * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

- MacCDRの［ファイル］メニューで［環境設定］を選択します。この画面でバッファアンダーランエラー防止機能を有効（初期設定）に変更してください。【「MacCDRユーザーガイド(*)」参照】

  * MacCDRのCD-ROMの中にオンラインマニュアル（PDFファイル）として収録されています。

CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	本製品付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている	CD-R/RWメディアにだけデータを書き込めます。CD-ROMや音楽CD（CD-DA）などには書き込めません。
本製品の電源が入っていない	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
USBケーブルが正しく接続されていない	本製品を含むUSB機器にUSBケーブルを正しく接続してください。

CD-R/RWメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている	ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
メディアの容量が足りない	新しいメディアに書き込んでください。
他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している	他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。本製品で書き込んだメディアを使用してください。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。

5

付録

書き込みができない

メディアが対応していない	CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。ライティングソフトで設定した書き込み速度に対応したメディアを使用してください。
メディアが傷ついたり汚れが付着している	メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。
ライティングソフトウェアが本製品に対応していない	本製品に付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。

パケットライト方式で書き込んだCD-R/RWメディアを読み出せない

CD-ROMドライブがパケットライト方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、パケットライト方式に対応していない物があります。
読み出しを行うパソコンにPacketManのドライバがインストールされていない	読み出すパソコンにPacketManリーダーをインストールする必要があります。WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら、[PacketMan Reader]をクリックします。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、本製品で音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を8倍速以下に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド(*1)」または「MacCDRユーザガイド(*2)」を参照してください。 *1 WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。 *2 MacCDRのCD-ROMの中にオンラインマニュアル(PDFファイル)として収録されています。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、オンザフライでの書き込みやコンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、本製品にCDをセットしてバックアップを行ってください。

本製品を読み出しドライブにした場合に、他のCD-R/RWドライブでオンザフライ方式でのCDのバックアップができない

CD-R/RWドライブによっては、オンザフライ方式でCDをバックアップできないことがあります。その場合は、本製品だけを使用してCDをバックアップしてください。

PaketManで書き込みするとシステムが停止する

Windows98(Second Editionを除く)でユニバーサルシリアルバスコントローラに[NEC PCI to USB Host Controller]をお使いの場合、PacketManで書き込みした際にシステムが停止することがあります。この場合は、マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/japan/)からWindows98サービスパック1をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
ユニバーサルシリアルバスコントローラの確認手順は次のとおりです。
①[マイコンピュータ] アイコンを右クリック→② [プロパティ(R)]をクリック→③ [デバイスマネージャ] タブをクリック→ ④ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] を確認

DVD-RAMドライブから音楽CDを読み出せない

DVD-RAMドライブ(弊社製DVD-RAM5.2G/Aなど)にセットした音楽CDからWAVEデータを作成する場合、音楽データが読み出せないことがあります。この場合は本製品に音楽CDをセットし、本製品から音楽データを読み出してください。

5
付録

用　語　集

aspi
Advanced SCSI Programming Interfaceの略。米アダプテック社が開発したSCSIの共通プログラミングインターフェイス。このインターフェイスを提供するSCSIボードのデバイスドライバをASPIマネージャと呼ぶ。ASPIマネージャが共通のプログラミングインターフェイスを提供することでSCSIボードの差異を吸収する。

Audio CD
音楽CDを指す。CD-DAとも呼ばれる。

CD Extra
＊ Enhanced CD参照

CD-DA
Compact Disc Digital Audioの略。音楽CDを指す。1982年にソニーとPhilipsによって規格化され、この規格は、規格書の表紙の色からRed Bookと呼ばれている。Red Bookでは1セクタの大きさは2352バイトと定められている。

CD-I
Compact Disc Interactiveの略。CD-ROMをホームユースのマルチメディア媒体として発展させたもので、1986年にソニーとPhilipsによって提案された規約。この規約はGreen Bookと呼ばれている。
オーディオデータの他に、画像（静止画、アニメ、CGなど）、データ、文字などが記録されたCDで、Green Bookにより、ディスクへのデータの記録方法、再生用プレーヤのCPUやOSまでを含めて定められている。1セクタの大きさは2336バイト。

CD-R
Compact Disc Recordableの略。CD-ROMの基盤の上に有機色素を使った記録層が追加されたもので、レコーダのヘッドからレーザーを照射して記録層に焦げ目をつくることにより、データを書き込んでいる。ただし、一度書き込んだ内容は消去できない。CD-Rにはグルーブという溝がプレスされており、レーザーはこの溝に沿って照射される。
規格については、1989年にソニーとPhilipsによって発行されたOrange Book PartⅡに記されている。なお、Orange Book PartⅡは1994年にバージョン2.0、1997年にバージョン3.0へとリニューアルされている。

CD-ROM
Compact Disc Read Only Memoryの略。1982年にソニーとPhilipsによって規格化された音楽CD（CD-DA）を拡張し、文字や画像などコンピュータで処理できるデジタルデータを記録できるようにしたもの。1983年に規格が提唱され、これはYellow Bookと呼ばれている。1セクタの大きさは、Mode1（エラー訂正コード有）の場合は2048バイト、Mode2（エラー訂正コード無）の場合は2336バイトとなっている。

CD-RW
Compact Disc ReWritableの略。記録層にレーザーの強弱により非結晶状態（記録状態）、結晶状態（消去状態）を作り出す素材を用いることで、約1000回の書き込み・消去を可能にしたCD。CD-Rと違い、通常のCD-ROMドライブでは読み出せないが、CD-RWに対応したマルチリードタイプのドライブであれば読み出しが可能。
規格については、1989年にソニーとPhilipsによって発行されたOrange Book PartⅢに記されている。

CyberTrio-NX
パソコンを使う人ごとにWindows98の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するユーティリティです。NEC PC98-NXシリーズに付属しています。

El Torito
IBM社とPhoenix社が共同で考案した、コンピュータを起動させることのできるCD（＝ブータブルCD）の規格。名称は、両社で会談がもたれたレストランの名前に由来している。

Enhanced CD
Mixed Mode CDは音楽CDプレーヤで再生しようとすると、先頭のデータトラックが再生されてしまうため、ノイズが発生したりする問題があった。それを解消するためにオーディオトラックの後にデータトラックを追記したものがEnhanced CDである。音楽CDプレーヤに挿入すれば音楽CDとして認識され、CD-ROMドライブに挿入すればオーディオトラックを含むCD-ROMとして認識される。
CD Extraは、第1セッションにオーディオトラック、第2セッションにCD-ROM Mode2のデータトラックを記録したCDで、現在では一般的にEnhanced CDといえば、CD Extraを指すことが多い。

HFS
Hierarchical File Systemの略。MacOSで使用されているファイルシステム。ファイル名の文字種、制限などMacOSの制限に準じる。リソースフォーク、オリジナルアイコンなどの情報も保存される。

ISO 9660
ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)で定められたCD-ROMの標準的ファイルシステム。ファイル名の付け方、データの配置などの違いにより、Level1からLevel3に分けられる。

ISRC
International Standard Recording Cordの略。Audio CDのトラック(曲)ごとに付ける曲コードのこと。文字数は半角12文字で、最初の5文字は大文字のA～Zまたは数字0～9、残り7文字は数字0～9を使用する。

Joliet
マイクロソフト独自のファイルシステムで、64文字までのロングファイル名を付けられる。ロングファイル名に対応していないOSでは、8.3形式のISO 9660互換ファイル名で表示されるようになっている。

Mixed Mode CD
データトラックの次に、オーディオトラックを書き込み、クローズセッションしたCD。CD-ROMタイプのゲームソフトなどで多く用いられる方式だが、先頭にデータトラックが書き込まれているため、音楽CDプレーヤで再生しようとすると、ノイズが再生される、無音が続く、あるいはオーディオ機器に損害を与えるなどの問題がある。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略。動画や音声をデジタル圧縮する技術。ISOの下部組織にあたる標準化団体の名称でもある。

MP3
MPEG Audio Layer3の略称。MPEG規格において、オーディオ部分を規定したパートのうち、Layer3に分類されるアルゴリズム(手順)を利用して作成された音声圧縮ファイルのこと。MPEG Audioには3つのLayerがあり、各Layer間の主な違いは、圧縮時の音声品質。上位のレイヤほど、同じ圧縮率での音声品質が高くなる。CDクオリティ(44.1kHz,16bitステレオ)の音声を聴感上の劣化がないように圧縮する場合、Layer-1では約1/4、Layer-2では約1/6のサイズとなるが、Layer-3では約1/10。なお、MPEG-1とMPEG-2の双方に存在するが、圧縮方式はどちらも同じである。

Proxyサーバ
インターネットに接続する際、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。Proxyとは「代理」を意味する。特に社内LANなどセキュリティ強化のためにファイアウォールと併用して使用される。またインターネット接続時に送られてくるHTMLデータ情報などをキャッシングすることにより何度も同じ情報を取得しないようにProxyサーバに保存しておき、クライアントのインターネット接続高速化やトラフィックの混雑を軽減する役目も持ち合わす。

SCSI
Small Computer System Interfaceの略。ハードディスクやCD-ROMドライブなどの機器をコンピュータに接続するシステムインターフェイスのひとつ。

SCSI ID
ハードディスクやCD-ROMドライブなどのSCSI機器を接続する際、個々の機器を識別するために付けられる番号。0～7で、空いている番号を使用する。

TOC
Table of Contentsの略。データ記録の際、リードインに書き込まれるデータで、ディスクのどこに、何が書き込まれているかが記されている。

UDF
Universal Disk Formatの略。OSTA(Optical Storage Technology Association)によって提案された汎用のディスクファイルフォーマットのことで、ソニーのCD-R FSも同じフォーマット。

UFS
SunOSまたはSolarisOSで使用されているファイルシステム。ファイル名の文字種、制限など各OSの制限に準じる。

Video CD
動画や音声をデジタル圧縮したMPEGファイルをCDに書き込んだもので、専用のビデオCDプレーヤのほか、CD-R対応のDVDプレーヤでも再生できる。

WAVE
Windowsの標準的な音声ファイルのフォーマット。拡張子は.wav。

イメージファイル
メディアにデータを書き込む際、コンピュータのハードディスクなどに一時生成されるデータ。このイメージファイルからメディアへの書き込みが行われる。

ウェル
WinCDRのメインウインドウの、フォルダやファイルを配置・編集する部分。

オンザフライ
メディアにデータを書き込む際、ハードディスクなどにイメージファイルを作成せずに、直接CD-Rに書き込む方法。イメージファイルを作成する方法に比べて、マシンパワーに依存する割合が高い。

書き込み速度
メディアにデータを書き込む速度。低速に設定するほど書き込み失敗の確率は低くなる。

キュー・シート
作成したCDの形式、内容等のデータが記されたもの。マスターディスクをプレス業者等に渡す際に添付する。

グルーブ
CD-R、CD-RWに刻まれているレーザーの案内溝。グルーブに沿ってレーザーが照射される。

クローズセッション
メディアに書き込んだデータの先頭にリードイン、後端にリードアウトを書き込むこと。クローズセッションが行われていないメディアはCD-ROMドライブで認識されない。

シングルセッション
リードイン+データ+リードアウトで形成されるセッションが、メディアに1つしか書き込まれていない状態。

サンプリング
標本値定理に基づいてアナログ信号のレベルを一定時間ごとに計測し、データ化すること。

サンプリングレート
サンプリングを行う間隔時間で、秒を単位とする。また1秒間に行うサンプリングの回数をいうこともあり、Hzを単位とする。

セッション
リードイン+データ+リードアウトの3つの組み合わせを指す。

セッションアットワンス
リードイン、データ、リードアウトの順にセッションを書き込み、なおかつ、セッションを追記できる書き込み方法。

ターミネータ
SCSI機器の、ケーブルに接続されていないコネクタに取り付ける終端抵抗。物理的に取り付けるものと、レコーダに内蔵されていて、スイッチを操作するだけのものがある。ターミネータを付けていないと、誤作動の確率が高くなる。

追記
メディアにデータを追加していくこと。クローズセッションしたメディアにあらたにセッションを書き込んでいく"セッションアットワンス"と、クローズセッションしていないメディアにあらたにトラック(データ)を書き込んでいく"トラックアットワンス"がある。

ディスクアットワンス
1枚のメディアに全データを一度に書き込む方法。データのつなぎ目がないので、大量生産される音楽CDのマスターを作製するときなどに用いられる。複数回の書き込みはできない。

デフォルト
ソフトウェアのインストール後の設定、ハードウェアの出荷時の設定等、何も手を加えていない状態を指す。

デフラグ
ハードディスク上のフラグメンテーション(データの断片化)を解消するためのツール。Windows95/NTに標準で装備されている。

トラック
メディアに書き込まれるデータを指す。

トラックアットワンス
トラック(データ)ごとに書き込んでいく方法。トラックとトラックの間にリンクブロックというエリアができるため、マスターとしては利用できないが、容量の範囲内で最大99トラックまで追記が可能。

トラックイメージ
メディアに書き込むトラック(データ)をひとまとまりのファイルにしたもの。

ノーマライズ
曲全体のピーク値の平均が50%に対して、ある一部分が40%しかない場合、この40%を平均の50%にすること。音量レベルを一律に平均化(最適化)すること。

パケットライト
小さなデータの固まり（＝パケット）を単位として書き込む方法。ひとつひとつのデータが小さいため、メディアの容量を効率よく利用できる。

バッファ
レコーダに転送されてきたデータを一時貯えておく部分。

バッファアンダーランエラー
バッファへのデータ転送速度が、バッファからメディアへの書き込み速度より遅いため、バッファ内のデータが徐々に減り、書き込みができなくなってしまう現象。

バッファエラー
＊ バッファアンダーランエラー参照

ピット
CDの基盤に刻まれたくぼみを指す。ピットのある部分と、ない部分（ランド）ではレーザーの透過率が異なり、CD-ROMドライブやプレーヤはこの違いを利用してデータを読み出している。

ファームウェア
ハードウェアに組み込まれて動作するプログラム。レコーダのファームウェアはレコーダメーカーで適宜バージョンアップされており、ファームウェアをアップデートすることによりエラーが解消されるケースもある。

ブータブルCD
コンピュータを起動させることのできるCD。ブータブルCDでコンピュータを起動させるには、コンピュータ側で起動ディスクとしてCD-ROMドライブを選択しておく必要がある。

フラグメンテーション
ハードディスク等に記録されているデータの断片化を指す。フラグメンテーションが大きいとデータのあるブロックを探すためにアクセスの速度が低下し、結果的にレコーダへのデータ転送速度が低下するので、メディアへの書き込み失敗の確率が高くなってしまう。

プリエンファシス
オーディオの録音時に高域を強調する記録方式。

プリギャップ
Audio CDなどで、トラックの前に挿入される無音部分。

プリマスタリング
リードイン、リードアウト、エラー訂正コードなどを付加して、イメージファイルを作成する工程。

ポストギャップ
Audio CDなどで、トラックの後ろに挿入される無音部分。

ボリューム
ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROMなどを指す総称。ハードディスクをパーティションで区切った場合、区切られたひとつひとつのエリアもボリュームと呼ばれる。

マルチセッション
リードイン+データ+リードアウトで形成されるセッションが、メディアに複数（マルチ）書き込まれている状態。

メディア
CD-R、CD-RWなどのディスクの総称。

読み込み速度
WAVEファイルの作成やCDのバックアップを作成する際、元のCDからデータを読み込む速度。

ランド
CDの基盤上で、ピット（くぼみ）が刻まれていない部分を指す。ピット部分とランド部分ではレーザーの透過率が異なり、CD-ROMドライブやプレーヤはこの違いを利用してデータを読み出している。

リードアウト
メディアに書き込まれたデータの後ろに記録される、データの終了位置情報。

リードイン
メディアに書き込まれたデータの前に記録される、データの開始位置情報。TOCなどもここに記録される。

リンクブロック
トラックアットワンスで書き込む場合、何度か追記ができるため、一度にディスクの情報を確定することができない。そのため、トラックとトラックの間にデータの開始位置を決定するつなぎ目が必要になる。これがリンクブロックである。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

インターフェース		USB
準拠規格		USB Specification Rev2.0（*1）
コネクタ		USBコネクタ シリーズB
バッファアンダーランエラー防止機能		あり
データバッファサイズ		2MB
転送速度	CD-RW 書き込み時	最大1500KB/sec(10倍速)(*2、*3)
	CD-R 書き込み時	最大3600KB/sec(24倍速)(*2)
サイズ		164(W)×63(H)×290(D)mm（突起物を除く）
重量		1.8kg以下
消費電力		平均：13W　最大：22W
動作環境	温度	5〜35℃
	湿度	20〜80%（結露無きこと）
対応機種		USBインターフェースを標準搭載する次の機種 ・DOS/V機（OADG仕様）（*4） ・NEC製 PC98-NXシリーズ ・Apple社製 iMac、iMac DV、PowerMacintosh G3、PowerMac G4、iBook、PowerBook G3、PowerMac G4 Cube
対応OS		・WindowsMe(Millennium Edition) ・Windows98SE(Second Edition) ・Windows98 ・Windows2000 ・Mac OS8.6〜9.1

*1 USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度：480Mbps理論値）で本製品を使用するには、弊社製USB2.0インターフェースIFC-USB2P（またはUSB2.0に対応したパソコン本体）が必要です。
*2 お使いのパソコンのUSBの転送速度に依存します。
*3 CD-RWメディアに4倍速を越える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。
*4 USBインターフェースを搭載していない機種をお使いの場合は、弊社製USBインターフェースボードを別途お買い求めいただき、パソコンに取り付けてください。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ WinCDR、PacketMan、MacCDRのサポートについて

WinCDRクイックスタートガイドとMacCDRクイックスタートガイドにとじ込まれているお客様登録カード(株式会社アプリックス)は、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、PacketMan、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」および「MacCDRクイックスタートガイド」の1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、PacketMan、MacCDRに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CDRW-J2410U2ユーザーズマニュアル

2001年8月22日 初版発行
発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※年末年始と日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金 9:30～17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。